〔付－１〕

民間規格の評価申請書

一社）日本溶接協会 設備技術規格評価委員会　事務局　御中

下記のとおり申請いたします。

記入日： 年 月　　　　日

申請者：（団体名） 　　　　　（担当者名）

連絡先：

（住所）〒　　　-

（Tel）　　　　　　　　　　　　　　　　　　（Fax）

（e-mail）　　　　　　　　　　@

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者は、評価申請書とともに以下の書類に必要事項を記載のうえ提出すること。   * 附属書１　　申請する規格基準類の要件チェックリスト * 添付資料１　民間規格等作成団体の審議に係る説明 * 添付資料２　民間規格等作成団体の規則 * 添付資料３　民間規格等作成団体 規格原案作成員会 委員名簿（順不同、敬称略） * 添付資料４　民間規格に関する概要説明 * 添付資料５　評価申請する民間規格とその詳細説明 * 添付資料６　自己審査書 | | |
| 一般社団法人日本溶接協会 設備技術規格評価委員会　事務局　使用欄 | | |
| 受付日： | 備 | 考 |
| 受付番号： |

**附属書１**

**申請する規格基準類の要件（チェックリスト）**

日本溶接協会に設置する本委員会で評価する民間規格等は、一般高圧ガス保安規則第94条の７の13第５項第３号及びコンビナート等保安規則第94条の７の13第５項第３号に基づき、特定認定高度保安実施者が用いる保安検査の方法であり、次の要件又はそれ以上の基準により制定されたものでなければならない。

| 項目 | 評価を記入 |
| --- | --- |
| 1. 公開性   当該規格に関連する各分野からの参加と委員への任命条件に何らかの制限がないこと。即ち、その規格の制定審議をする委員の任命にあたっては、過度な財政的障壁(国内外の一般的な学協会会合の参加費程度は除く)を設けていないこと、また何らかの組織団体への所属を前提としていないこと。 |  |
| 1. 優越性の排除   当該規格に関連する各分野の審議委員が特定の分野に偏っておらず、また特定の利害を持つ個人または集団等が支配的とならないように配慮した規格制定審議手順が定められていること。ここにおいて支配とは、抜きんでた権限、上位の立場としての威力、影響力を持つ立場、もしくはその行使によって、他の見解に対する公明正大な検討を排除することを意味する。 |  |
| 1. 当該規格の制改定に関与する委員のバランス   当該規格の制改訂に関与する委員の分野とは、少なくとも次の三つの分野を指し、特定の分野の委員が1/3を超えていないこと。   1. 関連する製品の生産者またはサービスの提供者 2. 製品又はサービスのユーザー 3. 一般的な利害関係者 |  |
| 1. 関連規格との調和   規格としての体系性が考慮されていること。即ち関連する規格との連続性、連携性、調和性のあるものであること。 |  |
| 1. パブリックコメントの実施   パフリックコメントを実施した規格であること。ここにおいてパブリックコメントとは、インターネット上のホームページ等によりパブリックコメントが広く一般に告知され、関連する個人または団体が意見を制限なく提出でき、それに対する回答も公示されている状態を指す。 |  |
| 1. コンセンサスに対するエビデンス   規格策定プロセスにおいて、コンセンサスが得られた状態となるまでの審議手順について明確化されており、またその過程が正しく進められたことについて、議事録などでエビデンスが確認できるものであること。  ここにおいてコンセンサスが得られた状態とは、全ての視点、意見に対しての議論検討が完了し、その解決のための努力がなされた時点を言う。 |  |
| 1. 不服の申し立て   規格の策定プロセスにおいて、倫理に反する行為、作為または不作為等の手続上の問題に対する異議があった場合は、その異議の申し立てを受け付け、第三者が公正に審議できる体制を整えていること。 |  |
| 1. 規格の解釈対応責任   規格の運用後の解釈問い合わせの方法が明示され、その解釈に対する回答が公開されていること。 |  |
| 1. 規格の維持管理責任   規格の改定見直しが少なくとも5年に一度実施され、今後もその改定見直しが継続できる体制が確認できること。 |  |

**添付資料１**

**民間規格等作成団体の審議に係る説明**

|  |  |
| --- | --- |
| 件　名 | [➊審議依頼の件名（制定/改定）を記載]（記載例） |
| 1. 案件の要望者 | ●●規格原案作成委員会  委員長　[❷委員長名を記載] |
| 1. 民間規格等作成団体の承認日 | [❸例を参考に承認日を記載]  例：第●回規格原案作成委員会（●年●月●日）にて承認 |
| 1. 民間規格等作成団体における議決の状況 | [➍例を参考に記載]  例：委員数●名（全員）賛成 |
| 1. 民間規格等作成団体で提出された主な意見及びその意見への対応概要 | [❺意見の有無、意見への対応を記載] |
| 1. 関係技術基準等への適合性に関する説明 | [❻説明を記載] |
| 1. 制定・改定等に係る意見公募の結果及びその意見への対応概要 | [❼結果と意見への対応を記載] |
| 1. 定期的改定に関する事項 | [❽例を参考に記載]  例：次回見直しはxx年の予定 |
| 1. 審議記録の保存に関する事項 | ●●規格原案作成委員会規則に従い、5年間以上保管 |
| 1. 技術的な事項の問い合わせへの対応 | ●●規格原案作成委員会にて対応 |
| 1. その他、特記事項 | [❾特記の内容を記載] |

**添付資料２**

**民間規格等作成団体の規則**

（提出時に挿入する）

**添付資料３**

**民間規格等作成団体　規格原案作成員会　委員名簿（順不同、敬称略）**

[➊日付を入力(例：●年●月●日)]

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 委員区分 | 委員名 | 勤務先 |
| 委員長 | [❷氏名を記載] | [❸勤務先を記載] |
| 委員 |  |  |
| 委員 |  |  |
| 委員 |  |  |
| 委員 |  |  |
| 委員 |  |  |
| 委員 |  |  |
| 委員 |  |  |

**添付資料４**

**概要説明資料**

（提出時に挿入）

**添付資料５**

**審査対象となる民間規格を含む詳細説明資料**

（提出時に挿入）

**添付資料６**

**自己審査書**

| 技術評価の要件  （附属書１および民間規格評価機関の要件2. (3)⑥より） | 確認内容 |
| --- | --- |
| 1. 審査対象となる技術基準類が附属書１に記載された要件を満たしているか。   ※附属書１に対する差異事項がある場合はその説明をすること。 |  |
| 1. 技術基準で要求される性能との項目上の対応が取れていること。 |  |
| 1. 検査を行うに当たって必要な技術的事項について、検査項目毎に、具体的な手法や仕様が示されていること。 |  |
| 1. 評価を行う民間規格等の規定内容が明確かつ実現可能で、規格体系として成立するものであるか。 |  |
| 1. 関連する技術の動向及び最新知見を参照し、考慮しているか。 |  |

以上